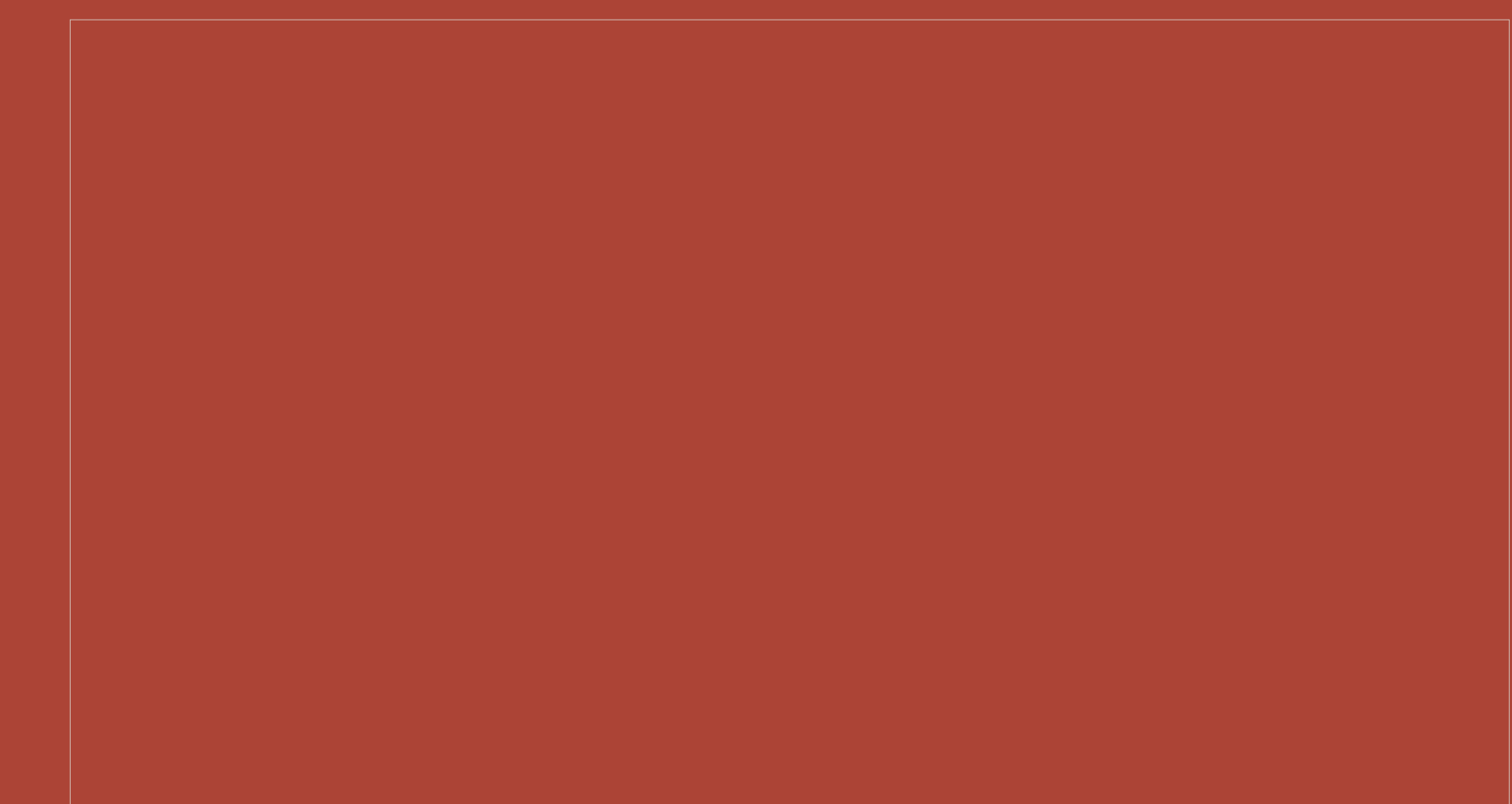


● 氷川公園



港区赤坂地区総合支所 地区政策課  
 TEL 03-5413-7013



赤坂氷川町

江戸時代には「ツ木町飛地のほか、盛徳寺、赤坂氷川神社などの寺社地、氷川門前、氷川社僧屋敷、大名・幕臣らの屋敷地でした。旧氷川小学校（サンサン赤坂）の敷地は、元禄の頃（1688〜1704年）には赤穂藩浅野家の屋敷でしたが、元禄14年、藩主浅野長矩が江戸城松之廊下で刃傷事件を起こしたため、召し上げとなりました。また、その東部には浅野長矩夫人遥泉院の実家である三次藩浅野家の屋敷がありました。跡地に享保14年（1729年）、古呂故が岡（現在の赤坂四丁目）から赤坂氷川神社が移転しています。

明治2年（1869年）、ツ木町飛地、氷川門前、氷川社僧屋敷を合併して「赤坂氷川町」とし、同5年には武家地と寺社地を合併しました。旧氷川小学校の所が、勝海舟邸だったことは、良く知られています。

赤坂中ノ町

古くは「ツ木村のうちで、谷あいの田地でしたが、承応・万治（1652〜1661年）のころに、埋め立てられて幕臣の屋敷になりました。当時から俗に「中の町」と呼ばれならわしていたらしく、田地を埋立てた場所であるため、赤坂築地とも呼ばれていました。明治5年（1872年）、武家地を合併して「赤坂中之町」となりました。町名は俗称の「中の町」に由来します。明治5年頃には、幕臣たちが去り、再び田地となりましたが、次第に埋め立てられ、明治の終わりには商店街・小住宅街となりました。

赤坂福吉町

江戸時代初期には本町の地域には福岡藩黒田家、人吉藩相良家、蕪野藩土方家の屋敷がありました。元禄年間（1688〜1704年）には土方家屋敷が結城藩水野家の屋敷になりましたが、その後、変化はありませんでした。明治5年（1872年）、福岡藩・人吉藩・結城藩の三藩邸を合併して一町とし、福岡藩の福、人吉藩の吉をとって「赤坂福吉町」となりました。福と吉という縁起の良い町名ということで、当時、人々の間で評判であったといわれています。



赤坂地区旧町名由来板

The Akasaka-area name of town origin

In 1872, the residences of three clans once existed around this area, the clan of the Fukuoka, the Hitoyoshi and the Yuki, were united to form a town. The town was called "Akasaka-fukuyoshi-cho" by quoting a Chinese character "fuku" from Fukuoka and "yoshi" from Hitoyoshi.

This area used to be a paddy field in a valley. It was filled up in the middle of 17th century and residences of Shogun's retainers were constructed. The area was commonly called "Nakano-cho". In 1872, those residential sites were combined to form a town, which was named "Akasaka-nakano-cho" based upon the commonly used name.

In 1869, an outlier of Hitotsugi-cho, Hikawa-monzen area and residential area of the Hikawa shrine priests were all incorporated as a town called "Akasaka-hikawa-cho". Three years later, the sites of samurai residence, temples and shrines around this area are also combined together. It is well known that Katsu Kaishu, a famous politician in the end of Edo period, used to live at the site of the former Hikawa primary school.